

夢いっぱい

学校における熱中症対策

日中の気温が30度を超える日が多くなり、登下校中や体育の授業中などに熱中症にかかる心配が高まってきました。

学校では、熱中症指数計を設置し、暑さ指数(WBGT)を計測しています。暑さ指数とは①湿度、②周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指数で専用の機器で計測します。

暑さ指数ごとに定められた「熱中症予防運動指針」に基づき、激しい運動を控えたり、運動・外遊びを原則中止するなどしています。



学校設置の「熱中症指数計」

教室ではエアコンや扇風機を活用して、適切な学習環境の維持に努めています。状況に応じて、授業中であっても水分補給をさせるようになっています。

登下校中、息苦しさを少しでも感じたら、マスクを外して構わないこと、体育の授業では原則マスクを外して活動するよう声をかけています。また、持ち運びする荷物を減らすため、教室においておく物も増やしています。

発行者 校長 富山 敏三
発行日 令和4年6月24日(金)
〒635-0822
奈良県北葛城郡広陵町平尾542
電話0745 55 2388

マスクの適切な着脱



プリントでもお知らせしましたが、政府は、体育の授業や登下校中にマスクをつける必要はないとの指針を出しました。高温や多湿の環境下でのマスク着用は身体に負担がかかり、特に運動時には熱中症のリスクが高まる可能性があるといわれています。

しかしながら、2年間にわたり、マスクを着けていることが当たり前の生活を続けた子どもたち。感染対策としてはではなく、「恥ずかしい」「周りの目が気になる」という理由で、マスクを外したくない子どもがいるようです。

感染のリスクがなくなったわけではありません。本人の意に反してマスクの着脱を無理強いすることはできませんが、夏場の屋外での活動などでは、熱中症対策を優先してマスクを外すことが自分の身を守る事につながると考えられます。状況に応じて、その都度子どもたちにも丁寧に説明・指導をしていきたいと思います。

御家庭でも、「今日は暑くなりそうだからマスクを外して帰らなさいね」など、発達段階に合わせてマスクを適切に着け外してできるよう言葉かけをお願いします。

ご参観いただきありがとうございます

4日(土)、3年ぶりに土曜参観を行い、子どもたちの学校での学習の様子をご覧いただきました。子どもたちは、いつもにも増して張り切って学習に取り組んでいました。

当日は入替制で、廊下から参観いただく形となりましたが、皆様の御協力のおかげで大きな混乱なく終えることができました。お忙しい中御参観下さり、本当にありがとうございました。



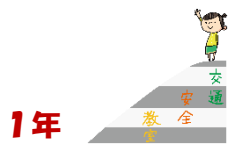
畿央大学からクラス指導に!

本年度の科学クラブは、畿央大学の奥田先生とゼミの学生の方も一緒に指導してくださっています。



前回は、「くるくる回転しながら落ちるおもちゃ」を教えてくださいました。角度や形を工夫し、誰が落下時間か長くできるかを競い合いました。

交通安全教室



3年・6年 模擬衝突体験 (3年生)

1年生対象の交通安全教室を1日(水)に実施しました。「交通安全の会」と香芝警察署の警察官の方に来ていただき、道路標識の実物や紙芝居を使って、交通ルールを守ることの大切さについて教えていただきました。

3年生・6年生対象の交通安全教室は22日(水)、「日本自動車連盟(JAF)」の方に来ていただき、実施しました。自動車衝突したときの衝撃を体験できる「模擬衝突体験車(シートベルトコンビンサー)」に乗せていただき、シートベルトを締めることの重要性を実感したり、また、自転車に乗るときにの注意点なども教えていただきました。